

二本松青年海外協力隊訓練所

ADATARA

あ だ た ら



派遣前語学学習に励む
シニア海外ボランティア

「シニア海外ボランティア」～国際協力の最前線へ～

1990年に「シニア協力専門家」として始まった派遣事業

これまで73カ国5748人のシニア海外ボランティアが世界中で活躍してきました。

そして今も66カ国1035人のシニア海外ボランティアが世界中で活躍しています。

JICA ボランティア

現地レポート

福島県出身

from Sri Lanka



スリランカ

コホマダー?



なかむら よしゆき
中村 善之 さん

平成 26 年度 2 次隊

出身地：福島市

派遣国：スリランカ

職 種：バドミントン



地方巡回では
いつも子どもたちの
笑顔に癒されます。

「コホマダ〜?(元気ですか?)」「ママ(私は)ホンダイ!
(元気です!)」

スリランカは南アジア、インドの南東にある島国です。シンハラ族、タミル族などたくさんの人たちが暮らしています。そのため、言語もシンハラ語、タミル語、英語などたくさんの言葉が使われています。宗教は仏教徒の人が多く、毎月満月の日は『ポヤ・デー』と呼ばれる祝日になります。食事はカレーがほとんどですが、日本のカレーとは全く違い、1つのカレーに1つの食材が基本となります。一度の食事でマンゴーカレー、ジャガイモカレー、カボチャカレー、チキンカレー、魚カレーなどたくさんのカレーを楽しむことができます。



スリランカの家庭の味
たくさんのカレーが
一度に食べられる。

そんなスリランカで私はスリランカバドミントン協会(SLBA)に所属し、スリランカ代表選手・ジュニア選手の強化、地方での普及活動等を行っています。毎日練習は早朝5時に始まり、お昼休憩をはさんで夕方の6時過ぎまで!とても暑い国なので毎日運動しているおかげで少しスリムになりました。バドミントンを通して小さな子どもから年配の方までたくさんのスリランカ人と関わることができて楽しい毎日を過ごしています。国や言葉、宗教観など違いはありますが、スポーツの楽しさや笑顔はどこに居ても変わらないことを日々実感しています。残りの期間も一人でも多くのスリランカ人と関わられるように積極的に活動していきたいと思います。



紅茶が有名な
スリランカ
朝日に照らされた茶畑は
輝いて見えます。



国際大会での
コーチングも経験
しました。



たまにゾウが道を
歩いています。

世界遺産が8つもある
スリランカ
遺跡もたくさんあります。



EVENT REPORT

青年海外協力隊50周年記念事業 Rwandaful Summer 2015開催!!

イベント
レポート1



福島大学の学生と旧平石小学校仮設住宅にて(2015.7.19)

青年海外協力隊50周年を記念して7月19日(日)、20日(月)にルワンダフル・サマー2015を開催しました!!

19日は二本松市の旧平石小学校仮設住宅を会場に、福島大学の学生が主体となり「震災から復興を目指す福島軌跡」と「民族紛争から見事な復興を遂げたルワンダの奇跡」を軸にイベントの企画・運営を行いました。当日は仮設住宅の皆さん、JICA二本松で訓練を受けている訓練生、福島大学の学生など多くの参加者がイベントを楽しみました。

20日は福島市の福島県教育会館大ホールで桑山紀彦さんによる「地球のステージ」やJICA青年海外協力隊経験者、ルワンダ人留学生、高校生など国際協力への考え方や取り組みなどについてトークライブを行いました。

「平成27年度第2次隊 シニア海外ボランティア 修了式」

イベント
レポート2



16名が修了証書を手に入れた!!

8月12日(水)に35日間の訓練を終えた平成27年度第2次隊シニア海外ボランティア16名の修了式が行われました。

派遣国はインドネシア、ベトナム、ミャンマー、ラオス、モンゴル、ヨルダン、モロッコ、ガーナ、トルコ、ザンビアの10か国。

シニア海外ボランティアの皆さんは7月9日(木)に156名の青年海外協力隊候補者と共にJICA二本松訓練所に入所し、語学学習やスポーツ大会、健康・安全管理の講座を通して大きく成長できたことを実感したそうです。

派遣国出発までの1か月間は自宅でweb学習を行いながら、更に語学に磨きをかけます。

VOICE ボイス



ルワンダの
教育を考える会
江藤 大裕さん

このコーナーでは日頃よりJICA二本松を応援してくださっている県内の皆様にインタビューし、JICAボランティアとのエピソードや期待・エールをうかがっていきます。

今回は、JICAと一緒にイベントを行っている【ルワンダの教育を考える会】の江藤大裕さんにお話を聞きました!!

「ルワンダの教育を考える会ではどのような活動をしていますか?」

ルワンダの子どもの為に学校建設、教育支援を行なっています。そしてルワンダの内戦の事や平和や命の尊さを知ってもらう企画、そして復興に向かって歩んでいる福島の人々が笑顔になれる様なイベントを創っています。なによりも自分が一番楽しんでやっていますが(笑)

「青年海外協力隊はご存じですか?」

はい!!「僕たちにできることは必ずある」という紹

介動画も見ましたが、一方的な指導ではなく、住み慣れない環境で、協力隊員の皆さんが現地の人と一緒に問題を自分事として捉え、解決に向けて考えて、悩む姿はとっても印象的です。ぜひ、皆さんに見て頂きたい動画です。

「青年海外協力隊のイメージをお聞かせください!!」

とにかく会う人会う人、みんなバイタリティーがあって面白い方々ばかりというイメージです。先日、訓練生の方に会う機会がありましたが、とにかく超一流の元気印。これでもかっていうくらい目が輝いていましたね。まるでザリガニを取りに行く少年みたいでした(笑)

「今後、JICA二本松とやってみたいこと(イベントなど)はありますか?」

7月に青年海外協力隊50周年事業の一環としてJICA二本松さん、福島大学佐野ゼミの学生の皆さんと一緒に「Rwandaful Summer2015」を開催しました。若い力が躍動し、笑顔と繋がりが生まれる本当に素晴らしいイベントとなりました。今後も若者たちが世界へ大きく羽を伸ばし、ワクワク、ドキドキ

する様な企画と一緒に創っていきたいです。

「最後に世界中で活躍している協力隊員へ一言お願いします!!」

みなさんの踏み出した一歩はとてつもなく大きな一歩です。フィールドは世界です。

その「好奇心に満ちた瞳」と「あふれんばかりの笑顔」で、全力で駆け回ってきてください!! そして大きく成長した姿を見せてください!! 世界が待っています、You can do it !!



これからも多くのイベントを通してルワンダの復興、そして世界の現状と一緒に発信していきましょう!!

